



# 消防団

瑞穂町消防団だより

令和3年6月  
第14号  
発行:消防団広報誌編集委員

## 消防団長就任にあたってのご挨拶

平素より瑞穂町消防団の活動に対し、ご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

4月1日付で瑞穂町消防団団長に任命されました村田健二と申します。全力を傾注して地域防災の任にあたり重責を全うしていく所存です。

近年、瑞穂町においても台風やゲリラ豪雨による広範囲での氾濫や浸水、土砂崩れなどの災害が発生しています。

これまでも私たち消防団は、様々な災害に備えるため、適切に対応できる知識の研鑽と技術の向上に努め、防災力の強化を図って参りました。

新型コロナウイルス感染症の終息が未だ見えない状況ですが、団員の感染予防対策を徹底し、引き続き地域の安心安全に向け邁進して参りますので、一層のご理解ご協力をお願い申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の終息と災害のない日常でありますことを切に願ひ、ご挨拶とさせていただきます。

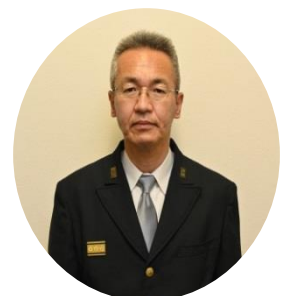
瑞穂町消防団

団長 村田 健二

## ～正副団長紹介～



副団長 高橋 一幸



団長 村田 健二



副団長 日置 高朗



副団長 川嶋 浩康



副団長 宮崎 光行

### 災害情報メール配信

町では町民へ災害や火災が発生した時にメールの配信を行っています。左のQRコードを読み取るかメールアドレスでご登録をお願いします。

QRコード



メールアドレス  
mizuho.saigai  
@mpme.jp

### 広報誌編集委員

- 本部 川嶋浩康副団長・日置高朗 副団長
  - 1分団 竜田昌哉 部長・小野裕輝 部長
  - 2分団 根岸智也 部長・榎本竜也 部長
  - 3分団 吉岡 聡 部長・尾作真一 部長
  - 4分団 濱本賢吾 部長・三浦 卓 部長
  - 5分団 加村嘉章 部長・細渕通秀 部長
- 連絡先 消防団事務局(役場 地域課内)

☎ 042(557)7610

## 本部紹介

本部は、団長1名、副団長4名、本部団員15名の合計20名で構成されており、町の安全・安心のために各種訓練、演習、広報活動を行っています。団員の年齢や職業もさまざまですが、団長の下、なんでも意見を言い合える風通しの良い環境で、活動に励んでいます。

活動時には、正副団長は現場で分団への指揮を行い、本部団員は火災であれば情報収集や周辺の交通整理、訓練であれば準備や分団のサポートを基本的に行っています。

また、令和元年度から新たな仲間として加わった女性消防団員は、応急手当や防災の知識を多くの住民の皆さまに広める広報活動をしています。町を守るため、女性の「チカラ」が消防団でも輝いています。今後も各分団と連携を図り、消防団全体で町の安全・安心を守っていきます。



正副団長・本部団員（本部総勢は20名）



広報活動等で活躍する女性消防団員

（担当 本部）

## 第一分団紹介

第一分団は主に長岡地区を管轄地域としており、団員構成は、他の分団より若干年齢層が高いですが、高い練度と堅実性があります。火災や災害が起きた際、地域住民の方々の安心と安全を守るため、迅速に活動が行えるよう消防技術の研鑽を図っています。

消防団活動でもコロナ禍の影響は非常に大きく、現在も様々な活動に制限がかけられており、団員自身もそうですが、それを送り出す家族も不安を感じている状況だと思えます。そうした中で、消防団活動における団員のモチベーションの維持と連携がとても重要となっています。

今期は新たに2名の新入団員も加わり、各団員が一丸となって、今まで諸先輩方が築き上げてきた信頼を受け継ぎ活動して参ります。地域防災の要として、皆様が安心して暮らせるまちづくりの一助になれるよう頑張りますので、消防団活動へのご理解と協力のほど、よろしくお願いいたします。

（担当 1分団）



副分団長  
吉岡 富



分団長  
丹生 範仁

## 第二分団 紹介

箱根ヶ崎地区管轄 分団長 高橋 洋一 副分団長 山内 稔啓

第二分団は、箱根ヶ崎地区を担当しています。

今年は、まだ続くコロナ禍で、緊急事態宣言も発出し、自粛生活ではありますが、分団としましては心機一転、初心へ帰り消防活動に力を入れていきたいと思えます。

今期も新たに一名の新入団員が加わり団結を深めるとともに規律ある第二分団を築き、町の為、協力し頑張ります。

箱根ヶ崎地区は、瑞穂町の中でも人口が多い地区であり、箱根ヶ崎駅や各街道が交差し、町の中心地となります。

また、狭山神社や、円福寺等の文化財もあり、とても歴史ある地区です。日々訓練を重ね、箱根ヶ崎地区、ひいては瑞穂町全体の安心・安全の為、団員一丸となり活動に取り組んでいきますので、皆様のご協力をお願いいたします。



副分団長  
山内 稔啓



分団長  
高橋 洋一

(担当 2分団)

## 第三分団 紹介

日頃より地域の皆様には、消防活動に対し多大なご理解・ご協力を頂き心より御礼申し上げます。

第三分団は、石畑地区（石畑・武蔵）、武蔵野地区（むさし野・南平）の広範囲に及ぶ二つの地区を担当しています。

近年では、火災出動だけでなく、台風や集中豪雨等による出動も多くあり、幅広い知識、技術を習得すべく団員一人ひとりが「自分たちの町は自分たちで守る」という考えの基に「地域住民の生命、身体及び財産を守る」ことを使命として日夜、訓練、防災活動に励んでおります。

今後とも地域の皆様、今期より新たに入団した5名の新入団員と共に地域防災のリーダーとして消防団活動を行うことで、より一層の「安全・安心」を町民の皆様へお届けできるよう活動してまいります。

(担当 3分団)



副分団長  
村上 竜一



分団長  
浦野 純

## 第四分団 紹介

第四分団は瑞穂町と武蔵村山市の境がある殿ヶ谷地区を担当しております。団員構成は会社員、自営業、公務員、年齢も20代から40代と世代や職種の垣根を超えた団員が在籍しております。今期は4名の新たな団員が入団し、これから消防団員として様々な活動をしていくところではありましたが、昨年から続くコロナ禍の為、操法大会が中止になるなど、普段の活動に制限が出てきてしまっている状況です。

消火栓・防火水槽等の水利点検や瑞穂町消防団全団での消火訓練、防災訓練など実施出来る範囲で活動を継続し、火災・自然災害等の有事の際には力を発揮できるように励んでいきたいと思っております。

自分達が出来る事、求められている事を今一度振り返り団員一同、町民の皆様の安心安全を第一に活動していきます。これからも消防団に対するご理解ご協力を頂きます様、よろしくお願い致します。

(担当 4分団)



第五小学校にて写生会でのポンプ車展示



副分団長  
中野 好和



分団長  
高橋 直樹



副分団長  
亀野 正弘



分団長  
岩永 泰樹

第五分団は瑞穂町北部の二本木町、富士山町、高根町、松山町、駒形町及び栗原町を担当し、広さは町の面積の約4分の1に相当する433ヘクタールです。分団詰所は第三小学校の北東に位置し、東京狭山茶をイメージした鮮やかな緑色が特徴です。

基本活動は毎月の町内巡回や水利点検ですが、各種訓練を通じて災害に備えています。特に、狭山丘陵は土砂災害特別警戒区域や急傾斜地が存在し、不老川も流れているため、自然災害による風水害や土砂災害に備え、訓練に励んでいます。

団員の年齢や職業も様々で、学生も活躍しています。昨年度は新型コロナウイルスにより開催できませんでしたが、バーベキューやキャンプなどで絆を深め、土気高揚を図っています。皆様の安心と安全を守るために邁進して参りますので、第五分団をよろしくお願ひします。また、「地域に貢献したい」「消防団に興味がある」「レクリエーションが大好きだ」どれか一つでも当てはまる方は是非一緒に活動しましょう！

(担当 5分団)

## 第五分団 紹介